

令和7（2025）年度第1回柏崎市スポーツ推進審議会

1 日 時 令和7（2025）年11月26日（水） 午後3時00分～午後4時30分

2 会 場 市役所4階4－4会議室

3 出席者 【委員】

石井卓委員、須藤泰司委員、川尻優委員、佐藤幸治委員、重野典子委員、
西沢彰委員、後藤由香理委員、上島慶委員、岡村宜城委員、小山真樹委員、
木村重成委員、飯塚政洋委員 （欠席）月橋直子委員

【事務局】

田中教育部長

スポーツ振興課 藤巻課長、栗林課長代理、秦野係長、佐藤主査
学校教育課 吉田副主幹、山田囑託指導主事

4 会議概要

(1) 開会

田中教育部長 あいさつ

本日は、平日のお忙しい時間にも関わらず、大勢の方から参加いただき感謝する。

本日は、令和7（2025）年度の第1回目の審議会となる。

お集まりいただいた委員からは幅広い見識から忌憚のない意見を頂戴し、柏崎市におけるスポーツ振興の更なる推進を図りたい。

本年度は、10月5日（日）に10年ぶりに陸上競技場で第12回市民大運動会を開催した。多くの団体・市民から協力をいただきながら盛大に開催することが出来た。雨天により一部の競技が中止となったが、大勢の参加者から楽しんでもらった。詳細については、この後の議題で事務局から報告、説明をする。

スポーツによる活躍では、水泳競技で第二中学校の歌代選手が国民スポーツ大会を含む3つの全国大会で優勝し、居合道では、大西選手が全国大会7段の部で優勝し2連覇を達成している。また、新潟産業大学附属高校女子バスケットボール部は2年連続で全国大会に出場を決定しており、今年度も多くの選手が活躍をされ、柏崎を盛り上げている。

本日の次第について、多くの議題があるため、限られた時間ではあるが協力をお願いしたい。

簡単ではあるが挨拶とさせていただきたい。

よろしくお願いいたします。

(2) 議事

① 第12回市民大運動会を開催しました（報告）

資料に基づき、事務局から説明。

質疑なし

② 中学校の休日の部活動の地域展開について（経過報告及び意見交換）

資料に基づき、事務局から説明。

委員 指導者の人員確保や資質向上について、長岡市作成のガイドライン冊子が資質向上に有効ではないか。柏崎市として同じようなガイドラインを作成する予定はあるか。作成しないのであれば、この長岡市のガイドライン冊子を指導者に配布する予定はないか。

会長 令和5（2023）年度の審議会で、ガイドラインを作成するのではなく、方針となる柏崎版の子どもたちのスポーツグランドデザインを作成することで了承いただき、昨年から議題として検討を進めている。

なお、各スポーツ競技団体から熱中症対策やハラスメントに関するガイドラインは、既に示されている。

事務局 会長からの説明のとおり、ガイドラインと同じもの作成するのではなく、グランドデザイン作成を進めることで認識している。

会長 確認になるが、指導者向けのガイドラインを作成する予定はないということよろしいか。

事務局 現時点では予定していない。

委員 以前の審議会で、スポーツ振興計画の作成に対する質疑がグランドデザインの作成につながっていると認識している。

委員 指導者に対するガイドラインの配布を行わないとのことか。

会長 ガイドラインについては、既に各スポーツ団体から指導者に対するガイドラインが示されている。改めて、市としてガイドラインを作成する予定はないとの事務局からの回答であった。

事務局 補足として、地域クラブの指導者に対して、現在柏崎市スポーツ協会による公認スポーツ指導者制度を活用し、指導者が講習を受け

るようにしている。講習の中で熱中症やハラスメントに関する講習を受けたうえで地域クラブの指導を行っている。

会長 指導者登録の際に、指導者の責務やハラスメントに対する規定を定めている。

室内・室外など、スポーツによって状況がさまざまなため、改めて市が指導者に対する熱中症やハラスメントなどのガイドラインを作成する必要はないかと感じる。

委員 長岡市のガイドラインはHPでも掲載されているため、作成・配布するのではなく、HPの情報提供でもよいのではないか。

会長 情報提供について、事務局で検討をお願いしたい。

委員 指導者のハラスメントや暴力などトラブルがあった場合、市ではどの部署が窓口となるのか。

事務局 地域展開での指導者に対するトラブルに対しては、教育委員会が窓口となる。

会長 指導者講習会では、2年に1回、弁護士によるコンプライアンス講習を実施している。

委員 地域展開での保護者負担はどのくらいか。送迎に対するスクールバスの活用は可能か。支援を必要とする子供への配慮を指導者講習で行っているか。

事務局 保護者負担について、最も高い負担は月2, 800円、また、最も安い負担は月1, 000円となる。今後多少前後すると思われるが保護者も了承している。国からは負担額の目安として月3, 000円が示されている。

スクールバスの活用について、保護者から要望もあったが、全国でみると一部の自治体だけで行っており、柏崎市では新しい仕組みの構築が必要になるため、活用しない予定である。

支援を必要とする子供への配慮について、各種目とも学校の教職員が少なからず関わっている。教員から各種目に対して情報を共有しながら進めていく。

会長 スクールバスの活用に関係するが、以前民間バス業者の活用を検討した際、高額になること。また、運転手の確保が出来ないなど、活用するには厳しい状況であった。

③ 子どもたちのスポーツグラウンドデザインについて
資料に基づき、事務局から説明

委員 現状と課題について、「運動やスポーツをすることが好きな子どもが中学校で減少する傾向にある。」とあるが、この根拠はあるか。

会長 この表現の根拠は、学力学習状況調査の結果からか。

事務局 国の統計調査で示されている内容であるが、人口減少に伴い運動部活動に加入数の減少が進んでいる。
部活動の地域展開で、スポーツへの関わり方の選択肢を増やす必要がある。全体を踏まえこの表現とした。良い表現があれば修正したい。

委員 「スポーツをすることが好きな子どもが減少している」という表現について、「部活動に所属する子どもが減少している」のであれば客観的で根拠があると感じる。しかしながら、「好きな子どもが減少している」ではアンケートなどを実施し、その結果に基づいていないと表現が飛躍しすぎではないか。体育の授業では、子どもたちが体育を楽しめるよう、運動が好きなるように取り組んでいる。客観的な根拠に基づいていない表現であれば修正を行った方が良い。

会長 根拠がないようであれば修正を加えた方が良い。

委員 目標の「運動習慣を増加させ、」とあるが、「運動機会を増加させ、」の方が良いのではないかと。

委員 小学生の取組について、イベントなどの単発だけで良いのか。学校の体育との連携を入れた方が良いのではないかと。

会長 小学生だけでなく、中学生の取組としても入れた方が良い。
また、今回頂いた意見を踏まえ修正を加えたグラウンドデザインは

いつ頃審議会で示す予定か。

事務局 次回は2月を予定しており、その中で最終案を示したい。

会長 他にお気づきの点があれば事務局へ連絡をしてほしい。

④ 公共体育施設の設置状況について
資料に基づき、事務局から説明

委員 陸上競技場は改修工事のため、6月から10月まで全く使えないということでしょうか。

事務局 そのとおりである。

委員 佐藤池サッカーコートの使用頻度はどの程度か。

事務局 クレーコートのため、利用状況は少ない。令和6年度の利用者数は営業期間約250日で1,145人である。

会長 佐藤池サッカーコートは2面あり、高速道路からも近く立地も良かったことから当初は利用頻度が高かった。しかしながら、現在は小学生など人工芝でサッカーをすることがほとんどであり、クレーコートはあまり使っていないのが現状である。

委員 試合や大会は刈羽村のサッカーコートを使用することがほとんどであり、柏崎市では正規のサッカーコートの広さがある場所は佐藤池サッカーコートだけである。人工芝の正規サッカーコートがあれば柏崎市から刈羽村に行かなくても良い。

会長 新潟産業大学でも以前人工芝のサッカーコートを試算したと思うが、地盤が悪く高額のためダメだったと聞いている。

委員 佐藤池サッカーコートの活用について、今後の方針はあるのか。

事務局 閉鎖等も含めて現在未定である。しかし、利用者数や維持費等も含めて今後検討していかなければならないと認識している。

委員 総合体育館の大規模改修設計業務委託について、アリーナの各種

競技のラインについて、ソフトテニスのラインは、その都度引かなければならず、分かりづらい。改修の際はラインを引くよう検討していただきたい。

会長 角に印がある程度であればよいが、各種競技のラインが多いほど分かりづらくなる。大会をする際、余計なラインを見えないようにする作業が増える。

現時点でも利用頻度が少ない種目は角の印で対応し、大会は自分たちでラインを引く。

どの競技のラインを引くか、十分に検討していただきたい。

事務局 大規模改修に床の張替えは含まれている。頂いた意見を踏まえながら検討していきたい。

⑤ 令和7（2025）年度スポーツ振興課の取組について

資料に基づき、事務局から説明。

質疑なし

⑥ その他

事務局より、任期満了に伴う次期スポーツ推進審議委員の団体推薦、公募について説明。

(3) 閉会

以上